

この24日に3消防団他から議長あてに、
「辛口103号は、けしからぬ」との申し入れがあったそうです。

おかしなところ、間違いがあるというなら、直接、私におっしゃればいいのに、
何日も経ったのに、今に至るまで何も届きません。
スジ違いも甚だしく失礼な話で、わけも判らなければ、中身すらもわかりません。
議長によれば
「消防団を侮辱しているため、政治倫理審査会の開催と議員辞職勧告、
辛口だよりに謝罪を求める」という内容だったとのこと。
また、同じ趣旨で、市長にも面会されたようです。

私としては、
22年度の決算状況の事実を述べたものであり、侮辱するつもりなどありません。
市のホームページに公開される決算委員会の議事録をみれば、わかることですし、
（アップが遅いのがいけません）議員なら、事実かどうか知っているはず。

ポイントは2つ。

- ① 消防団を継続するならば、非常勤特別職公務員として
法令や規則は守っていただかなければならないという「法令遵守」という点
必要な書類は整え、予算の費目・使い途については、誤りがあってはいかんでしょう。
公費での飲酒は、いまだき許されると思えません。
- ② これからを考えるなら
現実に即したあり方や活動を模索していくべき時ではないかと思うのです。
団員になってくれる人が少なくて困っているなら、なぜ少ないのかの分析が必要では
ないかとも思います。操法訓練がハードではないか、任務が重圧ではないか…という
提案と捉えていただきたいと思います。

申し入れに際して、議長は、
「決算委員会でのやりとりと鈴木議員の調査によるものであり、政治倫理審査会には
なじまないと考える。12月議会を傍聴してはどうか」と応えられたとのこと。

本人抜きに、抗議や訂正を求めることが通るとは思えませんが、
いずれにしても、赤字団体に転落した今、（合併に賛成した方々には特に）
市長が、合併の大きな目的と言う行財政改革の面も、考えてもらいたい課題です。
新市では、すべての分野で行財政改革、見直しを行っています。
健全財政なくして、団運営はないのですから。